

令和 2 年度 事業 報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、次のような事業を行っています。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース公開システム関連事業
- (3) 調査研究事業

2. 令和 2 年度（令和 2 年 5 月 1 日～令和 3 年 4 月 30 日）においては、以下の事業等を行いました。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース監視・公開システムの運用等業務（成田国際空港）
- (3) 管制レーダー情報管理等業務（成田国際空港）
- (4) 飛行コース公開システムに係るデータ編集作業（東京国際空港）
- (5) 首都圏空港の滑走路処理能力に関する調査
- (6) 福岡空港における運航実態調査
- (7) 那覇空港における運航実態調査
- (8) 空港機能強化のための管制運用方式及び飛行方式のあり方に関する調査
- (9) 岩沼研修センター教育用飛行場情報業務実習装置更新に係る要件整理
- (10) 高知空港の地上運用実態調査
- (11) 福岡空港の地上運用実態調査
- (12) 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
- (13) 新千歳空港の新滑走路整備に係る処理能力調査業務
- (14) 航空管制官の能力評価項目整理作業の支援作業
- (15) 東京国際空港運航情報データの買入れ
- (16) 中部国際空港航空機騒音等監視システムを構成する環境情報公開システム保守業務
- (17) 羽田空港航空機内陸飛行騒音調査に係る航跡確認作業